

(2001年10月-12月)

<前ページからの続き>

"Small Sample Evidence on the Impact of Generated Variables in Event Studies,"(報告) International Congress on Modelling and Simulation-MODSIM2001,Dec.

"The Impact of Sectoral Shifts on the Unemployment Rate of Different Age Groups,"(with K. Sakata)(報告) International Congress on Modelling and Simulation-MODSIM2001, Dec.

Time Series Analysis (座長) International Congress on Modelling and Simulation - MODSIM2001, Dec.

Time Series Analysis (セッション企画者) International Congress on Modelling and Simulation - MODSIM2001, Dec.

木戸衛一助教授「『統一』12年目の新連邦州」(報告)ドイツ現代史研究会、立命館大学白雲荘、12月

星野俊也助教授「9-11 Terrorist Attacks and Japan」(報告)緊急セミナー『国際テロと日米関係』、OSIPP、10月

「国際安全保障の射程」(報告)国際安全保障ワークショップ(WINS)第1回会合、OSIPP、10月

「外交を考える学生シンポジウム in 兵庫」(コーディネーター)日本外交協会、神戸、12月

"Information Security and Globalization,"(報告)10th CSCAP Working Group Meeting on Comprehensive and Cooperative Security, Shanghai, Oct.

「アメリカ同時多発テロとアフガニスタンへの報復」(基調講演)TIFA(とよなか国際交流センター)、豊中市、11月

「21世紀のアジアを考える日中研究者フォーラム」第3回会合(討論)、国際交流基金アジアセンター、湘南・葉山、11月

"From 'the UN Centrism' to 'Human Security': Japan's Policies towards the United Nations,"(報告)The UN, East Asia and World Peace in the Age of Global Governance, UN-ESCAP, Bangkok, Nov.

「サイバー安全保障と『外交革命』」(討論)外務省シンポジウム「ITと外交」、東京、12月

"Japan and Historical Legacies,"(報告) Conference on US-Japan Alliance and Regional Governance, US-Japan Foundation, Dec.

アジア太平洋安全保障協力会議(CSCAP)第16回運営委員会及び第3回総会(討論)、キャンベラ、12月

「危機事態対処戦略」(ディレクター)国際安全保障ワークショップ(WINS)第4回会合、陸上自衛隊伊丹駐屯地、12月

山内直人助教授「Nonprofit education and training in Japan,"(報告)Second ISTR Asian and Pacific Regional Conference, Osaka, Oct.

"Nonprofit research, education and training in Japan,"(報告)30th Annual ARNOVA Conference, Miami, Florida, USA, Nov.

今川拓郎助教授「階層型からネットワーク型グローバル

ゼーションへ」(討論)日本貿易振興会アジア経済研究所

「情報化と交通・都市」(講演)関西鉄道協会都市交通研究所

都市鉄道需要構造委員会、11月

「岐路に立つモバイル・インターネット」(パネル討論)日経デジタルコア緊急討論会、11月

「街中無線インターネット時代の可能性 京都の場合」(討論)SCCJ「京都研究会」直前研究会、11月

下村研一助教授「Public Liability and Signaling in a Monopolistic Market」マイクロワークショップ、東京大学大学院経済学研究科、10月

"Product Liability and Signaling in a Monopolistic Market" VALDESゲーム理論セミナー、東京工業大学大学院社会学研究科、10月

Robert Eldridge 助教授「International Terrorism and U.S.-Japan Relations: Crisis Management and Public Relations」(セミナー共同主催者・司会)OSIPP, Oct.

"An Alliance for Engagement: Building Cooperation in Security Relations with China,"(報告)Kyoto Conference, Henry L. Stimson Center (USA)-Doshisha University, Kyoto, Oct.

「日米中露4カ国フォーラム」(報告)アジア太平洋フォーラム、東京・霞山会館、11月

"New Frontiers: U.S. - Japan Alliance Management Conference" (報告), Washington D.C., Dec.

「戦後日本外交の形成 - 1950年代」(科研共同研究会)神戸大学、12月

松繁寿和助教授「大学教育とキャリアの終盤」(報告・梅崎修氏、大谷剛氏と共著)日本教育社会学会、上智大学、10月

「日本企業の調整係数に変化はあったのか? - 90年代後半の変化を中心に - (宮本大、中田喜文)」(討論)第10回労働経済学コンファレンス、11月

労働経済専門講座(講演)(財)大阪労働協会、10月

清末豊紗(D3)「Trafficking in Women and Forced Prostitution As Tools to Control and Exploit Women: Case Studies of Female Migrant Workers in Thailand and Japan,"(報告)The NCRB Multidisciplinary Research Seminars at the University of Oulu, Finland, Nov.

岡市志京(D3)「Trends and Issues on Environmental NGOs in Japan,"(報告)International Conference: British and Japan as Partners: Challenges for NGOs, London, Nov.

伊藤ゆかり(D2)「医療機関での電子カルテの利用とその展望」(報告)生活経済学会関西西部会、大阪市、12月

「医療機関での電子カルテの利用とその導入行動」(報告)第一回医療経済学会議、京都市、12月

堤悦子(D1)「ベンチャー企業の潜在的起業家リスク認識と起業の意思決定」(報告)日本ベンチャー学会、11月

学外の公的活動など

林敏彦教授 大阪府総合計画審議会委員、12月

大阪産業再生プログラム評価委員会顧問、12月

21世紀の地方自治を考える懇談会委員、10月

Colin McKENZIE 教授 大阪府総合計画審議会専門調査委員、12月

橋本介三教授 和歌山県経済活性化委員会委員、12月

播磨・北摂地域連携整備計画調査委員会委員(再任) 株式会社野村総合研究所、10月

床谷文雄教授「日本家族 社会と法 学会」理事、11月

星野俊也助教授 国連大学グローバルセミナー2001神戸セッション実行委員・アドバイザー、神戸、10月

「緊迫のアフガン情勢」(ニュース解説)『あさイチ! relax』(読売テレビ)10月

山内廣弘(M1) 宝塚まちづくり研究所研究員(委嘱:平成13年10月~平成14年3月)

フィールドワーク・調査など

辻正次教授 タイにおける国際遠隔教育のフィジビリティ調査、10月

林敏彦教授(財)阪神・淡路大震災記念協会 京阪神における多様な主体の参加による新たな連携方策検討調査委員会・委員長、11月(継続中)

床谷文雄教授 生殖医療法および同性パートナー法の調査、ハンブルク・マンハイム、ドイツ、12月

星野俊也助教授「自衛隊の現状と課題」国際安全保障ワークショップ(WINS)第2回会合、海上自衛隊舞鶴地方総監部、陸上自衛隊福知山駐屯地、11月

Robert Eldridge 助教授「戦後日本外交の形成 - 1950年代」(関係資料調査)ニューヨーク、ワシントンD.C.、11-12月

清末豊紗(D3)「滞日外国人と連帯する会」スタッフへのインタビュー、神奈川県、10月

重政公一(D3)(財)平和・安全保障研究所研究調査、マレーシア・国際戦略問題研究所、シンガポール・ナンヤン工科大学防衛戦略問題研究所、東南アジア研究所、インドネシア・戦略国際問題センター、10月

受賞・研究助成受領

藤井樹也助教授科学研究費(奨励研究(A))「人権救済法の立法的課題」文部科学省、10月

- 追記 - 論文

野村美明教授「商法等の一部を改定する法律案要綱中間試案」中、外国会社規定の改正についての意見」『商事法務』(外国会社規定改正問題研究会)No.1599、7月

学会・シンポジウムなど

木戸衛一助教授「Rede bei der Gedenkfeier an der Friedensglocke im Volkspark Friedrichshain, Berlin, " Volkspark Friedrichshain, Berlin, Germany, Aug.

研究プロローグ

今川 拓郎 助教授 (産業組織論、情報経済学)

「専門は名前のイニシャルどおり、IT (Imagawa Takuo) なんです。イマタクの愛称のもと、36歳と若く、親しみやすい人柄から学生にとっては頼もしいお兄さんの存在の教官である。

84年、東京大学教養学部に入學、当時から情報系の技術革新に強く興味を持ち、まわりの学生が手書きがワープロでレポートを作成している中、パソコンをいち早く導入したと言う。元々理系だったが、同大学院の修士課程で、文系理系の接点である社会工学を専攻し、社会のシステムを数理的にとらえようと試みた。

C&C(コンピューターとコミュニケーションの融合)に未来を感じ、90年郵政省に入省、情報通信の仕事に携わり、2000年からOSIPPに。郵政省時代にハーバード大学に留学したが、そこで経済学の面白さを痛感、Ph.D.を取得し、情報技術と経済学を結びつける形で研究の可能性を広げた。

元来、好奇心旺盛で、学生時代からさまざまな土地へ一人旅に。モアイで有名なイースター島を旅行中には、牧牛にぶつかって左手骨折というアクシデントにも見舞われたそう。

「自分の学んできた環境とOSIPPとは、学際的という共通点がある」と指摘。それゆえ、学際的な環境の魅力と同時に、「カルチャースクール」的な方向へ進み興味のあることをつまみ食いして終わってしまう危険性も熟知している。「川が上流から下流へ行くにつれて、だんだん広がっていくように、研究にも水源となる軸が重要」と説き、いいかげんな「浮気心」を持つ学生を戒めている。

編集・発行 「OSIPP 広報委員会・ニューズレター編集部」(〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-31、大阪大学大学院 国際公共政策研究科内、TEL 06-6850-5202、OSIPPホームページ http://www.osipp.osaka-u.ac.jp)